

ひなたぎたいせき

日向北遺跡の調査

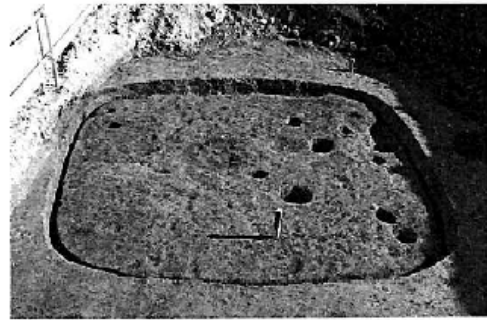
〈桜区〉

桜区西堀9丁目に所在する遺跡で、JR南与野駅の南西500m程のところに位置し、西側に荒川低地を望みます。

今回の調査は、都市計画道路築造工事に伴い、さいたま市遺跡調査会が8月から3月にかけて実施しました。

調査の結果、縄文時代早期の住居跡1軒、弥生時代後期から古墳時代前期の住居跡43軒などを検出しました。住居が重なって見つかったものもあり、数時期にわたって営まれた規模の大きな集落であったことがわかりました。

また地域の歴史や文化について理解を深める機会として、11月3日には現地説明会を地域自治会向けに開催し、86名の方が参加し、熱心に見学されました。



▲弥生後期～古墳前期の住居跡（日向北遺跡）



▲11月3日、現地説明会（日向北遺跡）

いづつきじょうあと

岩槻城跡の調査

〈岩槻区〉

岩槻区太田2丁目に所在する遺跡で、東武野田線岩槻駅から東へ1.4km程のところにあります。調査地点は岩槻城の三の丸につづいている独立した曲輪（くるわ）にあたり、江戸時代中期以降は武具蔵と呼ばれていた場所です。

今回の調査は公共施設建設に伴い、さいたま市遺跡調査会が平成22年2月から平成23年2月にかけて実施しました。

調査の結果、縄文時代前期の住居跡22軒、中期の住居跡1軒、後期の住居跡1軒、弥生時代中期の住居跡2軒、平安時代の住居跡1軒、中世から近世にかけての竪穴状遺構・井戸状遺構・地下式坑・掘立柱建物跡・堀跡などを検出しました。中世から近世の遺物としては、陶器・磁器・銭貨・鉄製品のほか、鉄砲玉が多く出土しました。また城跡関連の遺構・遺物だけでなく、縄文時代前期の貝塚が住居跡や土坑から検出されるなど、城としての利用以前の生活の痕跡も多く見つかりました。

また、11月20日には現地説明会を午前と午後各1回開催し、250名の市民の皆様が見学に訪れました。遺跡や発掘調査の様子を間近に見ながら、郷土の歴史や文化について理解と関心を深めていただく機会となりました。



▲調査区全景（岩槻城跡）



▲11月20日、現地説明会（岩槻城跡）

平成22年度発掘調査箇所（全40件・地域別）

北区（土呂陣屋跡③）、西区（根切遺跡②、大木戸遺跡③）、大宮区（側ヶ谷戸貝塚）、見沼区（南中丸下高井遺跡②、貝崎貝塚、丸ヶ崎館跡）、岩槻区（岩槻城跡、新曲輪遺跡、飯塚原地遺跡、尾ヶ崎新田深町遺跡）、中央区（南2号遺跡）、緑区（大北遺跡②、大在家遺跡②、南方遺跡、中野田島ノ前遺跡、中野田堀ノ内遺跡②、下野田本村遺跡）、浦和区（立葉遺跡）、桜区（白鍬宮腰遺跡③、本空遺跡、日向北遺跡、宿宮前遺跡）、南区（別所遺跡③、根岸遺跡、大谷口向北遺跡、明花南遺跡）

※遺跡の後の丸付き数字は、今年度発掘調査した回数です。